

感染症等の対策に関する留意事項について

柔道競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること。
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 柔道競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・本大会は、無観客試合で実施するため関係者以外は会場への入場禁止（保護者も不可）。
- ・会場内には消毒液・除菌ウェットティッシュ・体温計を設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場では、密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。競技開始前に選手へ指導する。
- ・選手への重要な連絡は、放送（マイク）を使用する。
- ・**選手待機場所は、指定された観客席**とし各選手間隔をとって座らせる。状況を見ながら放送（マイク）により注意・指導を行う。
- ・大会前日と当日の腋下体温を引率責任者に報告する。
（各学校の監督は、**監督会議において引率・選手の1週間分の健康観察チェックシート**を提出する）
- ・試合前後は、必ずマスクを着用し観客席で待機すること。また、隣との間隔をとって座ること。
- ・共有する器具等を触った手で口や目は触らずに、入念に手洗いまたは、手指消毒をすること。
- ・各自（校）ゴミは、全て持ち帰る。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・事前に、新型コロナウイルスの具体的留意点（この用紙の内容）を選手に周知徹底する。

【競技役員】

- ・大会前日と当日の2日間連続で腋下体温37度を超える者は、審判・役員の業務はできない。
(各学校の監督は監督会議において選手と引率・指導者の**1週間分の健康観察チェックシート**を提出する)
- ・本大会は、無観客試合で実施するため関係者以外は会場に入場できない(保護者も不可)。
- ・会場内には消毒液・除菌ウェットティッシュ・体温計を用意する。(別紙参照)
- ・会場では、マスク着用、手洗い(特に、用器具に触れた場合)、うがいを義務とする。(選手も同様)
- ・会場では、密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。選手にも競技前に指導する。
- ・選手に指示をするときは、放送(マイク)を使用すること。
- ・審判人数は、競技の状況にもよるが原則、少数とする。
- ・**選手待機場所は、指定された観客席**とし各選手間隔をとって座らせる。状況を見ながら放送(マイク)により注意・指導を行うこと。

【選 手】

- ・大会前日及び当日の2日間連続、または、当日の朝に初めて腋下体温が37度を超える場合には参加・観戦はできないこととする。
- ・大会前日及び当日の腋下体温を引率責任者に報告する。
(各学校の監督は、**監督会議において引率・選手の1週間分の健康観察チェックシート**を提出する)
- ・競技場内や競技中は、近距離での会話や大声での発声を避け、隣との間隔を十分あける。
- ・ウォーミングアップやダウン・男子の更衣場所は、**剣道場**を使用する。(貴重品の管理を徹底)
- ・試合前後は、必ずマスクを着用し観客席で待機すること。また、隣との間隔をとって座ること。
- ・共有する器具を触った手で口や目を触らずに、入念に手洗いまたは、手指消毒をすること。
- ・表彰は、行わず各学校の監督に渡す。
- ・各自(校)のゴミは、全て持ち帰る。
- ・重要な連絡は放送でアナウンスするので、適切に対応すること。

【顧問・引率者・指導者(外部指導者も含む)】

- ・大会前日及び当日の2日間連続で、腋下体温37度を超える場合は来場できないこととする。
- ・事前に、新型コロナウイルスの具体的留意点(この用紙の内容)を選手に周知徹底すること。
- ・待機場所では、決められた間隔をとって座る。
- ・マスク着用(義務化)の上、飛沫感染防止のため近距離での会話や大声での発声を避ける。